

平成29年度千葉市あんしんケアセンター運営事業実績について

1 総合相談事業

【表1 総合相談事業】 ※ () は相談件数割合

項目		期 間			
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	対前年度比
相談件数合計 (件)		39,178	40,400	53,221	31.7% [↑]
相談者延人数 (人)		27,823	29,039	38,300	31.9% [↑]
訪問延件数 (件)		7,240	7,671	10,284	34.1% [↑]
総合相談内容別件数 【重複】 単位…(件)	介護保険制度	16,936 (43.2%)	17,685 (43.8%)	21,656 (40.7%)	22.5% [↑]
	認知症等	4,226 (10.8%)	4,639 (11.5%)	5,951 (11.2%)	28.3% [↑]
	医療・保健	3,417 (8.7%)	3,468 (8.6%)	4,692 (8.8%)	35.3% [↑]
	施設入所	2,309 (6.0%)	2,551 (6.3%)	3,053 (5.7%)	19.7% [↑]
	ケアマネ支援	1,464 (3.7%)	1,504 (3.7%)	1,730 (3.3%)	15.0% [↑]
	保健福祉制度	1,421 (3.6%)	1,566 (3.9%)	1,672 (3.1%)	6.8% [↑]
	成年後見	786 (2.0%)	941 (2.3%)	1,007 (1.9%)	7.0% [↑]
	虐待(疑いを含む)	778 (2.0%)	865 (2.1%)	1,217 (2.3%)	40.7% [↑]
	個人の悩み事	—	—	2,227 (4.2%)	—
	安否確認(見守り)	—	—	2,070 (3.9%)	—
	経済的問題	—	—	1,493 (2.8%)	—
	通いの場、地域資源	—	—	1,074 (2.0%)	—
	家族の問題	—	—	1,063 (2.0%)	—
	住居・転居関係	—	—	892 (1.7%)	—
その他	7,841 (20.0%)	7,181 (17.8%)	3,424 (6.4%)	—	

表1のとおり、29年度の相談者延人数は38,300人と、28年度の29,039人と比べ9,261人増え、対前年比31.9%の増加となっている。

相談件数は53,221件と12,821件増え、対前年比31.7%の増加であり、高齢者の自宅を訪問して対応した件数は、10,284件と28年度7,671件と比べ2,613件増え、対前年比34.1%の増加となっている。

相談内容別では、「介護保険制度に関すること(21,656件)」が総合相談全体の4割以上を占め、続いて「認知症等に関すること(5,951件)」「医療・保健に関すること(4,692件)」「施設入所に関すること(3,053件)」となっている。

29年度において、「認知症等に関すること」の相談件数が2番目に多く、相談内容としては、認知症の方の介護に関する相談や、認知症の方の受診に関する相談等があげられる。また、29年度からは、従来、その他の項目に計上されていた、「個人の悩み事」、「安否確認(見守り)」、「経済的問題」、「地域の通いの場・地域資源の情報提供」、「家族の問題」、「住居・転居に関すること」を項目として追加している。

2 一般介護予防事業

【表2 一般介護予防事業実施状況】

項目 \ 年度	平成27年度 単位：(人)	平成28年度 単位：(人)	平成29年度 単位：(人)	対前年度比
介護予防普及啓発事業	31,294	39,082	38,325	2% ↓
地域介護予防活動支援	14,825	21,088	26,484	25.6% ↑

表2のとおり、介護予防普及啓発事業(認知症サポーター養成講座、講演会、ミニ講座、相談会等)の実績としては、29年度は38,325人と、28年度の39,082人と比べ757人減っており、対前年比2%の減少となっている。

地域介護予防活動支援事業(体操教室、ボランティア育成講座の講師、サークル、サロン活動支援・助言等)の実績としては、29年度は、26,484人と、28年度の21,088人と比べ5,396人増えており、対前年比25.6%の増加となっている。

介護予防普及啓発事業の実績がほぼ横ばいであるのに対し、地域介護予防活動支援事業の実績が、対前年比で大幅に増加していることについて、あんしんケアセンターが主体となって行う周知・啓発の活動だけではなく、地域活動組織の育成・支援を重要視した表れであると考えられ、シニアリーダーや、生活支援コーディネーターとの協働機会の増加も一因となっている。

3 指定介護予防支援事業

【表3 介護予防給付プラン作成件数】

	平成27年度 単位：(件)	平成28年度 単位：(件)	平成29年度 単位：(件)	対前年度比
センター作成プラン数	5,935	5,159	3,731	27.7% ↓
委託事業所作成プラン数	8,364	8,921	5,339	40.2% ↓
合計	14,299	14,080	9,070	35.6% ↓

表3のとおり、要支援1・2の方で、介護予防給付サービスおよび介護予防給付サービスと合わせて総合事業サービス（一般介護予防事業を除く）を利用する人に対して、「介護予防給付プラン」を作成し、合計で9,070件となっており、28年度14,080件に対し、29年度は35.6%の減少となった。

大幅な減少の要因は、従来の訪問介護・通所介護サービスが、介護予防給付サービスから総合事業サービスへと移行したことに伴って、介護予防ケアマネジメントプラン作成へと移行したことによる。

4 第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

【表4 介護予防ケアマネジメントプラン作成件数】 単位：(件)

	平成27年度 単位：(件)	平成28年度 単位：(件)	平成29年度 単位：(件)	対前年度比
センター作成プラン数	—	—	2,015	—
委託事業所作成プラン数	—	—	2,613	—
合計	—	—	4,628	—

表4について、29年度からの総合事業開始に伴い、「要支援1・2」の方及び基本チェックリストで該当者となった「事業対象者」の中で、総合事業のサービスを利用する人に対して、「介護予防ケアマネジメントプラン」を作成し、合計で4,628件となった。

なお、介護予防ケアマネジメント作成件数と介護予防給付プラン作成件数の割合については、33.8%と66.2%となった。

【表5 要支援認定者数、事業対象者数とサービス受給者数】

	平成27年度 単位：(人)	平成28年度 単位：(人)	平成29年度 単位：(人)	対前年度比
要支援1・2認定者数	9,972	10,424	10,976	5.3% ↑
介護予防給付サービス受給者数	5,574	5,968	5,226	12.4% ↓
総合事業サービス受給者数	—	—	842	—
サービスの受給割合	55.9%	57.3%	55.3%	2.0pt ↓

※各年度9月分の介護保険事業状況報告より計上

表5は、29年度9月時点で、サービス受給資格者である要支援1・2の認定者および事業対象者の件数と、介護予防給付サービスおよび総合事業サービスの受給者の件数を記載しているが、サービスを受給している割合は、29年度は55.3%となり、28年度の57.3%に比べ、2ポイントの減少となった。

5 地域ケア会議

【表6 地域ケア会議実施状況（機能別の分類）】

項目	年度	平成27年度 単位：(回)	平成28年度 単位：(回)	平成29年度 単位：(回)	対前年度比
		合計	合計	合計	
個別課題の解決		133	69	32	53.6% ↓
地域づくり・地域課題の発見・ネットワーク構築等		134	188	228	21.3% ↑
合計		267	257	260	1.2% ↑

個別事例の検討、地域課題の分析及び解決、多職種連携の推進を目的として実施するほか、29年度は自立支援を強化することを目的とした会議の模擬実施を3回行った。

また、表6のとおり、あんしんケアセンターによる開催は、29年度は260回となり、28年度の257回と比べ1.2%増で、ほぼ横ばいとなっており、機能別の内訳においては、「地域づくり・地域課題の発見・ネットワーク構築等」の割合が前年度比で21.3%増加し、「個別課題の解決」の割合は前年度比で53.6%減少となった。

6 各種会議等の開催について

【表7 平成29年度会議等開催状況】

会議等名称	開催数	内容
「あんしんケアセンター 管理者会議」	5回	各あんしんケアセンターの管理者を集め、センター28か所の円滑な運営及び平準化を図るため、情報共有や議案検討を行った。
「地域で暮らす精神疾患を抱える人への相談援助のポイント」 (研修会)	1回 (39人受講)	精神疾患を抱える高齢者やその家族が住み慣れた地域で生活するための支援方法やあんしんケアセンターが日頃支援している事例を通して、すぐに実践できる支援のポイントを習得することを目的として行った。
「実践から学ぶこれからの地域づくりへのヒント」(研修会)	1回 (43人受講)	関係団体と協働して地域づくりを進めるために、地域づくりに対する固定観念を払拭し、柔軟なイメージを持って、地域づくりに取り組むための方法やあんしんケアセンターが果たすべき役割について学ぶことを目的として行った。
「あんしんケアセンター職員向けエンディング相談研修会」研修会 (研修会)	1回 (62人受講)	エンディングに関する相談を受ける際の留意点や葬儀、お墓、生前整理等の基礎知識の習得を目的として行った。
「あんしんケアセンター運営会議」 (花見川区・稲毛区・緑区) ※区ごとに実施	32回	あんしんケアセンター支援体制整備を先行実施した3区において、区ごとの支援担当職員があんしんケアセンター管理者を集め、毎月の活動実績及び予定についての報告、センターの課題や取り組みについての情報交換や協議を行い、共通の課題抽出や解決に向けた検討を行った。 (地域包括ケア推進課職員同席)
「あんしんケアセンター支援担当職員会議」 (花見川区・稲毛区・緑区) ※3区合同で実施	6回	先行実施した3区の支援担当職員を集め、3区合同で、あんしんケアセンターへの支援活動の報告及び課題の検討、情報交換を行った。

表7のとおり、あんしんケアセンター職員の資質向上と平準化及び各関係機関との連携を図るため、各種会議を開催した。